

2016年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	スポーツ・健康科学研究科
評価基準5	学生の受け入れ【自己評定 B】
点検・評価項目(1)	5-1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
評価の視点	求める学生像の明示
	当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示
	障がいのある学生の受け入れ方針
点検・評価項目(2)	5-2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
評価の視点	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性
	入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
点検・評価項目(3)	5-3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
評価の視点	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性
	定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
点検・評価項目(4)	5-4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

5-1	<p>スポーツ・健康科学研究科スポーツ・健康科専攻修士課程は、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、下記のような学力および意欲を有する人材を求める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ科学、健康科学を学ぶのに十分な基礎的知識を有する人 2. スポーツ活動に対する心身の適応と行動、健康や医療に関する研究に積極的に取り組むことのできる人 3. スポーツや医療・健康増進活動を通して、健康の維持・増進に貢献するために、広い視点から高度な専門的知識、技能を身につけようとする人
5-2	<p>一般入試では、大学卒業でないし同等以上の学力を有する者、社会人入試では、スポーツ、健康関連職種などの有資格者を中心に募集し、外国人留学生も同様に匹敵する学力を有する者を募集している。</p>
5-3	<p>スポーツ・健康科学研究科は、研究科委員会において毎年度の入学者数を決定し、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理している。収容定員に対する在籍学生数比率(収容定員充足率)は、2016年5月1日現在0.70倍であり、また2012～2016年度入試における入学定員に対する入学者数比率(入学定員充足率)の平均は0.80倍で、適正とは言えない。入学者数は増減を繰り返しており、定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応は、十分とは言えない(d1-表4、B5-22 d2-表33)。</p>
5-4	<p>学生の受け入れ方針に基づき、学生募集および入学者選抜が適切に行われているかについては、研究科委員会で検証を行っている。</p>

【効果が上がっている事項】

5-1	
5-2	<p>2014年度まで入試科目は、英語・専門科目・小論文・口述試験の4科目を実施してきたが、専門科目と小論文の出題傾向に類似性や出題内容に重複が見られることから2015年度から小論文を廃して英語・専門科目・口述試験の3科目とし受験生の負担を軽減した。</p>
5-3	
5-4	

【改善すべき事項】

5-1	
5-2	
5-3	<p>収容定員充足率及び入学定員充足率は適正ではなく、入学定員を確保する方策が必要である。</p>
5-4	<p>学生募集および入学者選抜が適切に行われているか</p>

本項目の根拠資料(データ類、裏付けとなる資料)

A5-4	大東文化大学大学院案内 2015 <既出> A1-7
A5-5-1	2016 度大学院入学試験要項
A5-6	大東文化大学学則 <既出> A1-1

A5-7	大東文化大学大学院学則 <既出>A1-2
B5-7	大学 HP 大学院入試情報 http://www.daito.ac.jp/education/graduate_school/admission/index.html
B5-11	大学ホームページ (自己点検・評価活動) http://www.daito.ac.jp/information/examine/inspection/index.html <既出>B1-16
B5-20	2015 年度第 1 回スポーツ・健康科学研究科委員会議事録
B5-21	大学ホームページ (情報公開) http://www.daito.ac.jp/information/open/index.html <既出>B1-6
B5-22	大学データ集 <既出>B1-22
<大学基礎データ>	
d1-表 3	学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移
d1-表 4	学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数
【追加資料】	

Ⅲ【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価					
			2014	2015	2016	2017	2018	
中期目標 (2014～ 2018)	5-1 募集要項などに修得しておくべき知識等の内容・水準を明示する。	大学院 HP、大学院案内、大学院の手引きに記載されている。	→			A		
	5-2 学生募集および入学者選抜方法の適切性について検討を行う。	研究科委員会議事録あるいは「スポーツ・健康科学研究科自己点検評価委員会報告書」に記載	→			B		
	5-4 学生募集および入学者選抜が学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているか、定期的な検証を行う。また、責任主体・組織、権限、手続きは明確になっていないので検証システムを構築する。					B		
14 年度 目標	5-1 研究科委員会において、募集要項などに修得しておくべき知識等の内容・水準を明示する方法について自己点検評価委員会を中心に検討する。	研究科委員会議事録あるいは「スポーツ・健康科学研究科自己点検評価委員会報告書」に記載	→	B				
	5-2 入試改革ワーキンググループを設置して入学者選抜方法の適切性について検討する。							
15 年度 目標	5-4 研究科委員会において、学生募集および入学者選抜が学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているか、また、その責任主体・組織、権限、手続きを明確にする方法について自己点検評価委員会を中心に検討する。	研究科委員会議事録あるいは「スポーツ・健康科学研究科自己点検評価委員会報告書」に記載	→	B				
	5-2 これまで実施されてきた入試科目 4 科目(英語・専門科目・小論文・口述試験)から小論文廃して 3 科目受験を実施する。	研究科委員会議事録あるいは「スポーツ・健康科学研究科自己点検評価委員会報告書」に記載			B			

	5-4 研究科委員会において、学生募集および入学者選抜が公正かつ適切に実施されているか、また、その責任主体・組織、権限、手続きを明確にする方法について入試委員会及び自己点検評価委員会を中心に検討する。							
16年度 目標	5-3 入学試験制度や奨学金支援等の入学者増に繋がる方策を検討する。	研究科委員会議事録あるいは「スポーツ・健康科学研究科自己点検評価委員会報告書」に記載			C			
	5-4 研究科委員会において、学生募集および入学者選抜が公正かつ適切に実施されているか、また、その責任主体・組織、権限、手続きを明確にする方法について入試委員会及び自己点検評価委員会を中心に検討する。							